

I-104

藤女子中学校・高等学校  
卒業生通信

---

上智大学編  
3

皆さんこんにちは！ 2020 年度卒業生の珠理です！ epo と同じく、上智大学外国語学部英語学科の 2 年生です。今回は私が上智大学で気に入っていることと、昨年 1 年間の大学生活についてお伝えしようと思います。

上智大学は、四谷駅の目の前にそびえ立っている校門が印象的です。都心が近いのにもかかわらず都会特有の喧騒はなく、キャンパスの周りは高層ビルも少ないので、開けた空間で、木々の緑や綺麗な空を眺めることができます。



天気が良い時はキャンパス内の建物の屋上から、なんと富士山を望むこともでき、秋には校門横の金木犀の花が咲くので、毎朝登校時にその香りを楽しむことが日課のようになっていました。



キャンパス内には留学生や帰国子女の仲間がとても多くて、一歩足を踏み入ると外国にいるような気分になります。その中では私も自然と英語に！ 友達との日常会話も英語で楽しんでいます。

大学に入ってから友人関係はそれまで以上に充実していて、毎日友人と顔を合わせることが本当に楽しみで仕方ないです！ 興味分野が同じ仲間に囲まれているので、話題がマニアックな時もあるって面白いです。

写真は、入学式当日に友達になった同じ学科の仲間です。皆で横浜中華街やディズニーランドに遊びに行くくらい、今でもとても仲良しです！



大学の授業終わりに東京タワーに行ったり、「浴衣デー」のイベントに参加したり、コロナの感染状況が落ち着いていた頃ですが、学科の教授に食事に連れて行っていただいたり（教授とのお食事はものすごくレアなことです！）、授業終わりに外苑前の銀杏並木を散歩したり、昨年1年で数えきれないくらい沢山の大切な思い出ができました！





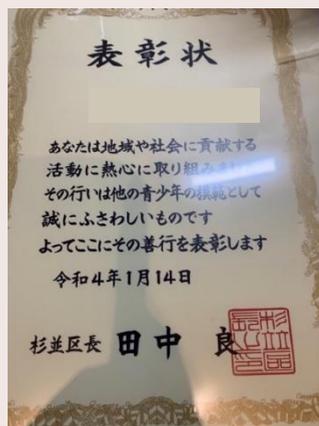
左下の写真は、この9月から1年間イギリス留学をする友人と撮ったものです。先日お別れをしてきました。

課外活動としては、ダンスサークルと  
中学校でのボランティアに参加していま  
す。ダンスの方は明治大学のインカレサ



ークル（複数の大学の  
学生が参加できるサー  
クル）に入ったので、  
他大学の知り合いが沢  
山できました。

ボランティアでは、中学校に赴き、中  
学生に英語を教えたり、精神的なサポ  
ートが必要な生徒さんの相談に乗ったり  
しています。昨年5月から  
活動を始め、今年2月  
には、嬉しいことに杉並区  
から「青少年善行表彰」  
も受けました。



1年生の秋学期からは、上智大学から歩いて5分ほどのところにあるホテルニューオータニで、レストランスタッフのアルバイトも始めました。授業や課外活動で忙しい中でも、週に3~5回シフトを入れてしまうくらいこのアルバイトが好きで、4年生まで続けたいと思い、がんばっています。



私が働いているレストランから見える東京の夜景です！ 学生には手が出せないほどの高級レストランです…！

さて、ここまでお話しした通り、大学1年目の生活、とても充実してはいました。しかし正直、東京での暮らしに慣れない上に初めての経験も多く、毎日神経を張っていたため、疲れることも多かったです。したいことやしなければならないことの全てを、手を抜かずにがんばろうとして、自分を犠牲にしたことも多かったですと感じています。自分を安定させることにとても苦戦しました。「東京に染まりたくない！」という謎の思いも強かったです。それでもがんばることができたのは、紛れもなく、高校時代の自分が「絶対に上智大学の英語学科を卒業して、将来世界のために活動するのだ」と固い決意をしていたからです。当時の自分の想いを度々思い出し、それを原動力

として、最初の1年間を乗り越えることができました。自分は努力ができる環境に身を置くことができている、それを目一杯に利用して、自分の人間性を高めるだけでなく、他者のために努力ができる人になるのだと、挫けそうな時にはその「軸」を思い出そうにしています。

夏休みを利用して、先日半年ぶりに札幌に帰省しましたが、「早く東京に戻りたい」と思わず口にしてしまったくらい、今では東京での大学生活が楽しいです。皆さんも、「今」の努力が将来の自分を突き動かす大きな力になるかもしれません。夢や目標に向かって、ぜひ諦めずに、できる限り努力し続けてみてください。

最後になりますが、ご質問や気になることなどがありましたら、先生を通してどうぞ気兼ねなくお尋ねください。お待ちしております！

後輩の皆さんが後悔のない選択ができますよう、心から応援しております。

